

聖霊降臨節第13週 主日礼拝

2018年8月12日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 新潟平和夕拝(午後7:00～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『マタイの福音書』7章7-11節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌221「ああ主の瞳」	—	同
聖書朗読	『ヨハネの福音書』12章20-26節(新約205頁)	司会者	
黙想	—	同
メッセージ	「なりふり構わず神を求めよ」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌259「聖いふみは教える」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	片山初子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こそぞりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：伊東一馬兄 会：小山千春姉 笹川清子姉	映像・音響：片山健司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤繁実兄 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

1. 当時外国人は神殿に入れず、不完全な礼拝だった。彼らはそれに満足せず、主イエスとの面会を願った。
2. 弟子を「主」(直訳)と呼んでまで仲介を願った。今や仲介は不要。が、その体裁にこだわらぬ信仰に学べ。
3. 主を信じることは主に仕えること。主に仕えることは主について行き、その歩みに倣うこと。一粒の麦として。

先週の暗唱聖句

「みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけません」
(『ヤコブの手紙』1章22節)

今週の暗唱聖句

「主は、すべてのわざわいからあなたを守り、あなたのたまいを守られる」
(『詩篇』121篇7節)

牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2018年8月12日

徳丸町キリスト教会および村上福音キリスト教会より、領収書類/OM日本ニュース第80号/敬和学園大学よりオープンカレッジの案内【9月、10月】、「カレッジ・レポート」第91号/次世代宣教準備委員会のお知らせ【8月13日(月)午後7:00より新潟福音キリスト教会において】

先週の集会出席者数

8/5(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-		
		幼児女子1 小学女子3 中学女子- 高校女子- 女児計4 成人女性2		
	第一礼拝	男3 女2	実用書道教室	
	聖餐礼拝(子ども)	男13 女20 男児2 女児6	8/6(月) 月曜家庭集会 8/8(水) 水曜祈禱会	男1 女3 男7 女5
夕拝	男1 女1	8/10(金) しゃべり場タピタ	金曜祈禱会	(都合により休会) 男1 女5

諸集会のご案内

	※8月書道教室は休会となります。		
月曜家庭集会	8/13(月)	(休会)	
新潟山形僚禱会	8/15(水) 午後7:30	祈りのネットワークをご持参ください	司会：横堀 信子姉
しゃべり場タピタ	8/17(金) 午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：長谷川睦子姉
金曜祈禱会	8/17(金) 夜	教会堂	

8/19(日) 聖霊降臨節第14週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山初子姉		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山健司兄 集会：笹川清子姉 長谷川睦子姉	映像・音響：片山浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：小林洋子姉 ※掃除当番は下表参照
掃除当番順	8/5[片山初子姉] 8/26[笹川清子姉]	8/12[小林洋子姉]	8/19[小山千春姉]
主日の予定	カナン訪問	午後2:00~2:45	進行：笹川清子姉
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教		

報告

1. 礼拝の感謝と本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。みことばの恵みを心に刻みつけて一週間を歩みましょう。礼拝後は昼食をいただき、会堂建築の学び会を行います。また午後7:00より新潟福音教会で「新潟平和夕拝」が行われます。当教会の夕拝も合流とします。奮って参加しましょう。
2. 個人消息
TEAM引退宣教師ロレイン・リース先生が、7月31日平安の中天国へと旅立たれたと、娘のDebbie May先生より教団事務所へお知らせが届きました。メモリアル礼拝は8月14日(火)午前11:00より営まれます。ご遺族ひとり一人に平安がありますよう祈りましょう。
3. 先週の来会者
8月5日(日) 聖餐礼拝に田中麻衣姉、教会学校と聖餐礼拝に田中美南さんが出席されました。

私の知人で、金銀で細工をする職人の方がいらっしやいます。その方から聞いた話ですが、細工をする前に素材の金や銀を純粋なものにする、つまり精錬することから始めるそうです。何千度という高熱で溶かしては不純なものを取り除いていくわけです。やがてその純粋になっていった金や銀に自分の顔が、鏡のように映って見えるようになるそうですが、この人はそれがとてもいやだったそうです。なぜかといいますと、まわりの人たちから「お前の鼻は天井むいてる」とか「獅子っ鼻」だとか、いつも鼻についてひやかされてばかりいて、死にたいと思うほど辛い思いをしているその鼻が、精錬した金銀がきれいになればなるほど、くっきりと映し出されてくるからだだったのです。この方は、ほんとうに伊豆の大島にある三原山に飛び込んでしまおうとさえしたと言います。しかし、思いどまり、ある方に導かれて、クリスチャンになりました。そして後になってから彼は、心のかすを取り除き、純粋になればなるほど、神様のお顔を心に映し出すことができるようになるのだという真理を知ったと話しておられました。

イエス様は、「心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです」(マタイ5・8)と話されました。

ある人たちは、「神がいるなら目に見せてみる、そうしたら信じてやる」などと言ったりしますが、神はほんとうにいらっしやるのですが、心の目がくもっているために、神さ

まを見るのが出来ないのだということに、その人たちは気がついていないということのようです。

ある水族館で、目のない魚というのを見たことがあります。説明によりますと、これはもともと目がなかったわけではなくて、深海の光のない真っ暗な洞穴の中で育ったために、目が退化してしまったのだということでした。人間もはじめは、神さまを見、神さまと交わることができたのですが、神にそむいて、罪の暗やみの中ばかり歩いているうちに、神さまを見る心の目がすっかり退化してしまっているということができそうです。しかし、イエス様は、その罪、汚れを取り除き、私たちの心をきよくしてくださるために十字架上で死なれたのです。この十字架を仰ぎ見るとき、その罪が赦され、心がきよくされるのです。そうして神を見ることができるようになるのです。

日常の生活の中で、神を見るようになるのなら、ほんとうに幸いです。クリスチャン生活の中にも、山あり、谷あり、嵐が吹きすさぶような時がありますが、それらの苦しみのただ中に神さまがいてくださるといことが信仰によって見えるならば、決して窮することもなければ、行き詰まることもないのです。そして何にもまさって、天の御国において主にお目にかかれることが、聖書に約束されているのです。



毎年8月12日は「太平洋横断記念日」。1962年のこの日、堀江謙一氏がわずか6m余りの小型ヨット「マーメイド号」で太平洋単独横断に成功し、サンフランシスコに到着した。堀江氏は当時23歳で、兵庫県西宮市を出港し、94日間・1万キロという長い航海を経ての成功であった。当時はヨットによる出国が認められなかったため、「密出国」という形であり、日本の行政当局からは「人命軽視の暴挙」と非難されたが、アメリカ現地では大きな称賛を浴びた。堀江氏は2002年にも63歳にして再び太平洋単独横断に挑戦。40年前の自己記録を更新して68日間という快挙を成し遂げた。(写真はイメージ)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



8/18(土)「神にある喜びと平安」藤井英彦さん

福島県会津若松市にあるキリスト教会の牧師・藤井英彦さんは、かつて大手企業で働いていた時に働き過ぎで体を壊してしまうという経験をしました。回復の糸口もなく精神的にも不安定な状態が続く中、キリスト教会に通うようになり、不思議なように癒やされていったといいます。現在、神にある喜びと平安を伝える牧師として活動する藤井さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2018年度教会目標 「弟子の覚悟をもって」

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

